

2018年観光キャンペーン



NPO 法人八峰町観光協会
〒018-2509
秋田県山本郡八峰町峰浜
沼田字ホノコ谷地 57-2

きよりの紙面			
1	1	1	1
観光プラットフォーム	新源泉利活用	理事会開催	来年の動き

リゾートしらかみ運行開始 20周年、あきた白神駅開業 20周年を迎えた本年。4月には秋田県春の大規模観光キャンペーンが3か月にわたって展開され、9月にはねんりんピックの招致があった一年でした。来年平成30年は、白神山地のユネスコ世界自然遺産登録 25周年の年です。(登録日は12月11日)

また、本年に引き続き大型観光キャンペーンの実施が決まっています。9月から11月までの期間、秋田がJRの重点販売地域に指定され、県と市町村、観光事業者等が協力して集客に奔走します。

町内では、八峰白神ジオパークの審査が行われ、また「条件付再認定」だった前回の課題をクリアして「再認定」を目指します。



10月1日に開業20周年を記念して行われたあきた白神駅まつり。2022年には開業25年とリゾートしらかみ運行開始25年を迎える。

理事会開催します

特定非営利活動法人八峰町観光協会の理事会が11月27日に開かれます。審議案件は本年度の事業経過報告と事業計画、次年度の事業計画についてです。ご意見やご要望がございましたら、通常総会で選任された15名の理事へお寄せください。

新源泉利活用 検討委員会

会報第19号でお伝えした新源泉「八森いさりび温泉」の有効活用について、2回視察研修を行いました。一つ目は養殖に関する山形県寒河江市トラフグの事例、二つ目は農業ハウスの栽培に関する青森県南津軽郡田舎館村観光いちご園のケースです。

観光協会の役割

8月31日の北羽新報でも報じられた「あきた白神観光プラットフォーム」について、9月から検討を重ねています。豊岡観光イノベーションアドバイザーでもある臼井冬彦氏の助言のもと、エリア観光の方向性を模索中です。



事業二年目の田舎館村夏いちご栽培

現時点で実現不可能あるいは極めて実現困難な事が明らかになってきました。温浴施設としての機能拡充を含め、次回の委員会(12月19日)で更に活用方法を検討して参ります。



観光協会とは消費者を着地に向かわせるマーケティング組織。本質的な役割は顧客創造・需要創造である。